

石狩川上流・天塩川上流水防連絡協議会
第3回 石狩川上流減災対策委員会 議事要旨

日 時：平成29年 6月29日（月） 13時30分～15時25分
会 場：アートホテル旭川 3Fボールルーム I（旭川市7条通6丁目）
参加者：別紙による

【議事】

- (1) 減災対策委員会の規約改定について
 - ・水防法の改正について
 - ・規約の改定について
- (2) 平成28年8月降雨による洪水概要について
- (3) 北海道緊急治水対策プロジェクトについて
- (4) 幹事会の報告
- (5) 水防災意識社会に向けた取組状況について
- (6) 「概ね5年間で実施する取組」の進捗状況について
- (7) 北海道管理河川での取組について
- (8) 北海道管理河川における現状の水害リスク情報や取組状況について
- (9) 「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画について
- (10) 今後の予定について

【議事要旨】

- ・規約（案）について 委員会から協議会への変更、及び規約（案）について承認
- ・平成28年8月降雨による洪水概要の情報共有
- ・水防災意識社会に向けた取組状況として「中小河川等における水防災意識社会の再構築のあり方について」の答申、および国交省通達「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく都道府県等管理河川での取組について」の確認
- ・「概ね5年間で実施する取組」の進捗状況の確認
- ・北海道管理河川での取組の確認
- ・北海道管理河川における現状の水害リスク情報や取組状況の確認
- ・「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画の情報共有

【委員からの主な意見】

（旭川市）

- ・5月に水害対応に関する国土交通大学校の研修を受講したところであり、住民の防災意識を変えていかなければならないと感じている。
- ・タイムラインを作成しており、市職員及び市民へ更なる周知方法を図りたい。

（鷹栖町）

- ・昨年7月に内水排除訓練を実施しており、日頃からの訓練が大事であることから、今後も町の体制を整備し出水に備えたい。

（東神楽町）

- ・昨年、初めて避難勧告を発令したが、消防と連携が十分ではなかったことから、消防に職員を派遣するなど連携強化を図っているところ。

- ・稲荷川、八千代川（忠別川の支川）で氾濫が発生したが忠別川では被害なく、忠別ダムの効果を実感した。

（当麻町）

- ・当麻ダムは土地改良区で管理しており、下流河川の水位が上昇している時に貯水池が一杯になり放流を始める事がある。下流河川の水位が上昇する前に放流するなど、柔軟な対応は出来ないか。
- ・上川総合振興局の資料について、重要水防箇所と整備実施箇所がそれぞれ掲載されているが、重要水防箇所と整備箇所がリンクしていないのは何故か。
- ・上流に危険箇所があり、出水の度に土のうを積むなど対応していることから、当該箇所の整備を実施していただきたい。

（回答：旭川開発建設部）

- ・当麻ダムは利水ダムのため、洪水調節操作は行わないが、管理者が違うことから改めて相談したい。

（回答：上川総合振興局）

- ・一般的に下流よりも先に上流の改修は行えないため、優先順を定めて整備を進めており、昨年の被害箇所等では、暫定的に樹木伐採などの対応を進めていきたい。
- ・重要水防箇所は、水位上昇量や被害実績などを考慮して定めたものであり、上下流バランスや社会的影響を踏まえて優先順位を設定している整備実施箇所とは必ずしもリンクするものではない。

（比布町）

- ・H28.8洪水でも幸いな事にほとんど被害がなく、避難所の開設は早い段階でできているが、被害の無い地域との町民意識が強いことから、意識改革が必要と考えている。
- ・被害の頻度が多い支川の改修を優先すべきと考える。
- ・気象台の情報は重要であり、空振りが多いと感じていたが、警報基準の見直しもあるとのことで、今後のきめ細やかな情報に期待する。

（愛別町）

- ・平成28年は石狩川と町河川、平成27年は愛別川で水位が上昇するなど、近年の大雨は局地的であり、どこで水位上昇するか予測がつかない特徴がある。
- ・道河川では河道内の立木処理をお願いしたい。
- ・今後、排水ポンプ車等との連携を強化し、被害を最小限にしていきたい。

（上川町）

- ・昨年は町内でも石狩川本川の増水により釣り堀が浸水するなど被害が発生しており、さらなる大雨が降ったらどうなるのかと心配しての町長発言であった。
- ・開建からは個別に説明頂き、大雪ダムは大丈夫と伺い安心した。
- ・ただし、このご時世、何が起こるか分からないことから、町長はまだ心配している。
- ・上川町は広域であり、昨年、上流山間部で降雨があつて市街地が晴れている場合でも警報が発令されれば体制を執っていたため、気象台からの、今後のきめ細かな情報発信はありがたい。

（東川町）

- ・昨年は天人峡、旭岳で被害があったほか、倉沼川流域では初めて避難勧告を発令した。
- ・国からのリエゾン派遣には感謝。
- ・課題として、当町は地下水利用であり、浸水すると地下のポンプが停電し水が確保できなくな

ることが挙げられる。

- ・避難勧告発令後、深夜に職員が各戸を回ったが、応答が無い場合、気付いていないのか、不在なのか、避難済なのか、特に独居高齢者宅の避難状況の把握が困難だった。今後、自治会とも話し合っていくこととしているが、人の転出入もあることから課題解決は難しい状況。
- ・道管理区間の整備を進めていただきたい。

(美瑛町)

- ・昨年の出水では建設管理部との現場連携がうまくいかなかったと感じている。今後、連携を強化して行きたい。

(上川総合振興局)

- ・災害復旧工事の発注を順次進めている。
- ・水位周知河川の取組を急ぎたい。
- ・市町村とのホットラインを構築していきたい。
- ・本日の意見も踏まえ減災に対する取組を進めて行きたいと考える。

(北海道警察旭川方面本部)

- ・河川氾濫についていろいろな方面からの通報でようやく把握できた。各機関との情報共有や連携が重要である。
- ・災害時には軽傷も含めた負傷者情報が消防には入るが、警察には入らないことがある。初動が重要なので、今後、消防を含めた自治体職員との連携を強化したい。

(自衛隊)

- ・昨年は管内で小化雲（ポンカウン）岳遭難事故があり、それから1ヶ月も経たず、3つの台風上陸により災害対応があった。実際に南富良野町の被害を目の当たりした。
- ・自衛隊では富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、美瑛町、占冠村との災害対応強化に関する協定を締結している。
- ・先月自衛隊内部の南海トラフ地震対応の大機訓練に参加し、防災力向上に努めている。
- ・先日も「北海道災害対策上川地方本部指揮室設置訓練」に参加したところであり、今後も北海道警察との訓練を予定している。

(気象台)

- ・気象予警報の的確な発表に努めたい。
- ・防災キッズパークを今年度も開催する。これらの活動を通じて普及啓発に努めたい。

(旭川開発建設部長)

- ・10年程前に比べ、各機関の連携の結びつき、住民の災害への意識が高まっていると感じる。
- ・今後も関係機関との連携や情報共有により減災に努めたい
- ・7月末に石狩川流域圏会議主催による豪雨災害対策職員研修が滝川市で開催されるが、石狩川上流の自治体からの参加者が少ないと聞いているので参加の検討をお願いしたい。

(以上)

石狩川上流・天塩川上流 水防連絡協議会

第3回 石狩川上流減災対策委員会 出席者名簿

機 関 名	役 職 名	氏 名	備 考
旭川市	市 長	西川 将人	代理:防砂安全部長 石川 秀世
鷹栖町	町 長	谷 寿男	代理:総務企画課長 上西 義幸
東神楽町	町 長	山本 進	
当麻町	町 長	菊川 健一	
比布町	町 長	伊藤 喜代志	
愛別町	町 長	前佛 秀幸	
上川町	町 長	佐藤 芳治	代理:副町長 谷 博文
東川町	町 長	松岡 市郎	代理:副町長 市川 直樹
美瑛町	町 長	浜田 哲	代理:副町長 塚田 聡仁
旭川地方气象台	台 長	磯部 英彦	
上川総合振興局	局 長	渡辺 明彦	代理:用地管理室長 天井 弘志
北海道警察 旭川方面本部	本 部 長	池田 康則	代理:警備課 課長補佐 佐々木 学
陸上自衛隊第2師団	師 団 長	高田 克樹	代理:防衛警備幹部 佐藤 俊輔
旭川開発建設部	部 長	樺澤 孝人	